

第 10 回 土木構造物検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年10月26日（木）10：00～12：00

2. 開催場所：航空会館 801会議室

3. 出席者：（順不同，敬称略）

- 委員：衣笠主査（東京工業大学）、西副主査（電中研）、山崎（首都大学東京）、金谷（関西電力）、四家（北海道電力）、大宮（東北電力）、酒井（東京電力）、仲田（中部電力）、寺田（北陸電力）、大内（四国電力）、川本（中国電力）、生貞（九州電力）、北川（日本原電）、
- 伴（電源開発）、金津（電中研）（計 15 名）
- 常時参加者：武田（東京電力）、玉田（日本原電）、蒲池（関西電）（計 3 名）
- オブザーバ：金戸（日本原燃）、花田（日本原子力技術協会）（計 2 名）
- 事務局：荒木（日本電気協会）（計 1 名）

4. 配布資料

資料 No.10-1 第9回 土木構造物検討会議事録（案）

資料No.10-2-1 JEAG4601 基準地震動策定・地質調査編

資料 No.10-2-2 耐震設計分科会のコメント対応案

資料 No.10-3-1 JEAG4601 改定案 第3章のうち津波水位評価

資料 No.10-4-1 JEAG4601 改定案 第4章 地盤調査

資料 No.10-4-2 第4章地盤調査の新旧比較表

資料 No.10-5-1 JEAG4601 改定案 第5章 地盤の安定性評価と土木構造物の耐震設計

資料 No.10-5-2 第5章地盤の安定性評価の新旧比較表

資料 No.10-5-3 第5章土木構造物の耐震設計の新旧比較表

参考資料 JEAG4601 改定案の分科会審議工程及び審議項目

5. 議事

(1) 検討会出席者の確認及び前回議事録（案）の確認について

本日は代理出席なく、委員 15 名の全員出席を事務局より報告した。また、事務局より前回議事録（案）について紹介を行い、出席者全員の賛成で了承された。

(2) 基準地震動策定・地質調査編のうち地質調査等への耐震設計分科会コメント対応

資料 No.10-2-1,2により活断層及び地質調査関係の耐震設計分科会コメント対応について説明が行われ審議し、一部修正のうえ次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

(資料 No.10-2-2)

- ・ 1.2.2.1内陸地殻内地震の解説の「活断層の分布密度が小さくても、―― 地下に存在することを想定する場合がある」→ 「活断層が不明瞭な場合でも、―― 地下に存在する可能性を検討しなければならない」に修正すること。

- ・ 1.2.2.1(1)活断層による地震規模の想定方法の対応案の記載は、冗長なので分りやすく見直すこと。
- ・ 1.2.2.1(1)の解説「活断層の長さL及び単位変位量Dの評価法については「2.2.1.2(2)断層」に示す」の記載は本文に移すこと。

(3) 第3章のうち津波水位評価

資料No.10-3-1により津波水位評価の説明が行われ、特にコメントなく、次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

(4) 第4章 地盤調査

資料No.10-4-1、2により第4章 地盤調査について説明が行われ審議し、一部修正し次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

(資料 No.10-4-2)

- ・ 4.4.3.2 静的せん断強度特性の本文は、より適切な記載に見直すこと。
- ・ 変更前後の比較表に分科会コメントである第四紀立地を視野に入れた対応を追加のこと。

(5) 第5章 地盤の安定性評価と土木構造物の耐震設計

資料No.10-5-1,2,3により地盤の安定性評価と土木構造物の耐震設計について説明が行われ審議し、一部修正し次回耐震設計分科会に諮ることについて、出席者全員の賛成で了承された。

主なコメントを以下に示す。

(資料 No.10-5-3)

- ・ 本文添付 5-8 限界層間変形角の評価式で(1)圧縮縁コンクリートひずみ 1%に対応する曲率、(2)層間変形角 1/100 の位置付けを明確にするため、「上式によらない場合には、(1)(2)による」旨を追記すること。

(6) その他

次回検討会の日程は、別途調整することとした。

以 上